



第44期 年次報告書

2024年1月1日 ▶ 2024年12月31日

人が未来-Next Technology Frontier®

Alps 株式会社アルプス技研

証券コード：4641

Contents

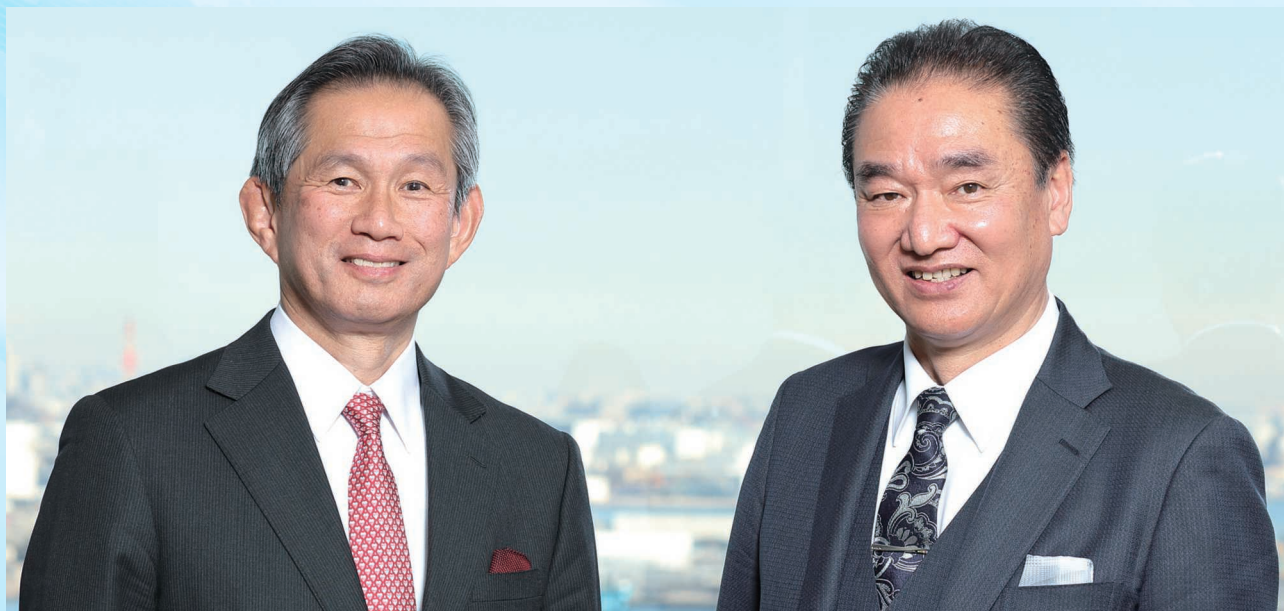
経営理念・ごあいさつ	01
新代表インタビュー	03
決算ハイライト	07
連結財務諸表	08
セグメント情報	09
トピックス	10
サステナビリティに関する当社の取組み	11
会社概要/株式の状況	13

経営理念 *Philosophy*

Heart to

ごあいさつ *To Our Shareholders*

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。
ここに「第44期年次報告書」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。



代表取締役会長
渡邊 信之

代表取締役社長
須藤 泰志

Heart

社会や企業の発展も、個人の成長も技術開発も、全て人間関係が基本であることを認識し「人と人との心のつながりを大切にしよう」という意味を表しています。

当連結会計年度（2024年1月1日～2024年12月31日）におけるわが国経済は、個人消費に足踏みがみられたものの、堅調な企業業績によって緩やかながら回復基調で推移いたしました。当社グループの中核である技術者派遣事業では、全社を挙げて、先端技術分野や成長が期待できる環境分野の技術教育を強化し、チーム派遣等の営業施策と連動した取組みにより、ご要請は引き続き堅調に推移し、高稼働率を維持しました。また、働き方改革に即した給与制度の一部見直しや、働きやすさをサポートする仕組み等の導入を図り、社員数の安定的な増加

に力を入れました。

当社グループは、2023年に「技術を活用し、共創社会のパートナーへ挑戦」という中期経営計画を掲げ、アウトソーシングサービス事業の強化はもとより、農業・介護を始めとする社会的課題の解決に資する新たな事業分野の開拓と、ものづくり事業の拡大に向けた施策を推進しております。

これからも株主の皆様のご期待にお応えできるよう、全力で取り組む所存でございますので、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社員一人ひとりが変化を成長の好機と捉え、 世界一気の利く技術集団として躍進していく。

「持続的に次の世代が育っていく組織に」

——新経営体制の始動について教えてください。

渡邊 当社はこの10年間に売上高で2倍以上、営業利益では3倍以上に成長してきました。また、創業50周年を迎えた2018年には農業・介護事業へ進出を果たすなど、着実な成長を続けることができました。これまでの体制を継続しながらでも同じような成長を目指すこともできますが、もう少し長いスパンで考えた時、企業として持続的に成長していくためには、組織の新陳代謝が必要だろうと考えました。人間には「この次は我々の世代が引っ張っていく」という意識で、その気概をもって仕事に取り組むことで成長するという

部分があると思います。10年を一つの区切りとして、持続的に次の世代が育っていく組織にしようと、今般の経営体制の刷新に至りました。

須藤 2015年から10年間務めた社長のバトンを受ける責任の重大さを認識しております。元々、私は当社の社員でしたが、2001年に(株)デジタル・スパイスを起業した経歴があります。その後、同社創業20周年のタイミングでM&Aをお受けして当社に再び戻り、今日に至っております。不遜ですが、これまで培ってきたものづくりの知見や、ベンチャースピリットを大いに活かし、これまでにない新しい風を吹きこみ、ポジティブな化学反応を起こすことができるのではないかと考えております。

その上で、目指す100年企業へ向けて当社を一回りも二回りも成長させていけるよう、これからの経営に邁進してまいります。

渡邊 当社は1968年にベンチャーとしてスタートした会社で、起業家精神を大切にしております。当社の社風を正に体現した人物として須藤社長は、起業家精神を発揮しながら、今後、技術系アウトソーシング事業は勿論のこと、農業・介護事業を力強く牽引していくと確信しております。これからの経営において私自身は、長期的経営視点や経営理念「Heart to Heart」の浸透という観点から、コーポレート領域の整備に注力していきたいと考えております。具体的には「2028年までにありたい姿」の実現のために、社内の様々な制度やルールの見直し、資本政策・M&A政策の検討等に努めていくつもりであります。

「技術を活用し共創社会のパートナーへ挑戦」

——これからの持続的成長について教えてください。

渡邊 2023年7月に、2028年までにありたい姿「技術を活用し共創社会のパートナーへ挑戦」を掲げました。事業規模を拡大するために、成長分野と定めている航空・宇宙分野やAI分野へ教育施策を実施しております。ものづくり事業では中核子会社である(株)デジタル・スパイスが、子会社化以降、売上高で2倍以上の



代表取締役会長 渡邊 信之

新代表インタビュー

成長をみせ、着実に成果をあげております。また、世の中が変化しても、食べるということは無くないという思いから、食・農に注目し、介護事業も高齢化が進む中、如何に高齢者に充実した生活をしてもらえるかといったところに、社会的なニーズがあると考え、「社会へ貢献する事業を新たな収益の柱にしていこう」と新規事業を立ち上げました。農業も農業人材の派遣、介護も訪問介護という言わばアウトソーシングビジネスの延長から



代表取締役社長 須藤 泰志

事業参入しました。今は次のステージとして、農業では、単なる人材派遣から農産物の生産・加工・流通へと領域を広げていこうとしていますし、介護では、これまでにない新しいタイプの施設運営へと、付加価値をつけるべく事業展開を進めています。こうした付加価値を生み出すビジネスモデルを作り上げることで、社会への貢献を実現し、それが、当社の収益の柱にもなると考えます。今年1年でその中間地点に到達できると手応えを感じております。

須藤 2025年度の事業方針は、「さらなる価値を共創し、アルプスブランドを高める」です。2024年度の「自らの価値を向上させ、企業価値を高める」という事業方針に取り組んだ結果、個々の価値は非常に高めることができた実感しております。2025年度は、高まった個々の価値をアルプス技研グループ全体で

共創し、成長を促していきたいと考えております。さらに、共創した価値を通じて「世界一気の利いた技術集団」としてステークホルダーを魅了し、社会に欠かせない存在となることで、アルプスブランドを高めてまいります。また業績面では、引き続いて過去最高業績の更新を目指してまいります。

「変化の先を読み、成長を」

——株主の皆様へのメッセージをお願いします。

渡邊 社内の年頭メッセージで『何ごとも「これまで通り」では進歩は生まれない。戸惑うことなくその変化を成長の機会としてもらいたい。』と、社員には一層の奮起を促しました。社員一人ひとりの成長が、会社の成長につながるよう、そしてそれが社会に貢献することにつながり、ひいては株主様の利

益となるよう、舵取りをしてまいります。

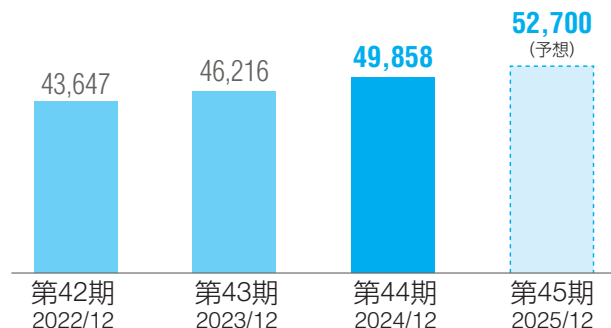
須藤 二代表制の下で役割分担を明確にしながら、機会やリスクを先読み・先取り・先回りし、凡事徹底かつスピード感をもって各事業戦略の遂行に邁進していく所存です。株主の皆様方におかれましては、変わることなく当社経営に対するご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。株主の皆様への期待に応えられるような結果にこだわった経営に努めてまいります。

インタビュー後記

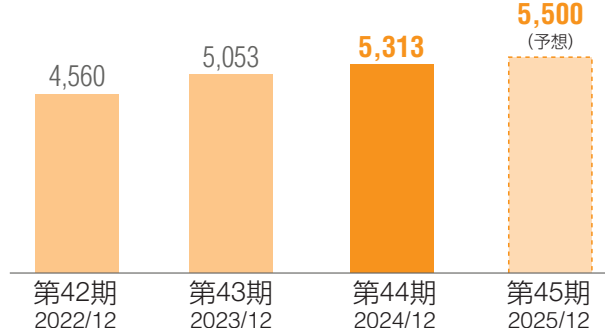
長期的視点からコーポレート全体を俯瞰で捉える渡邊会長と、現場の陣頭指揮を執るというやる気に満ち溢れた須藤社長という、非常に好対照な御二人による対談となった。アルプス技研のDNAを素地として持ちながら、長らく外で起業家精神を発揮してきた須藤社長の、これからの経営手腕に注目していきたい。

決算ハイライト

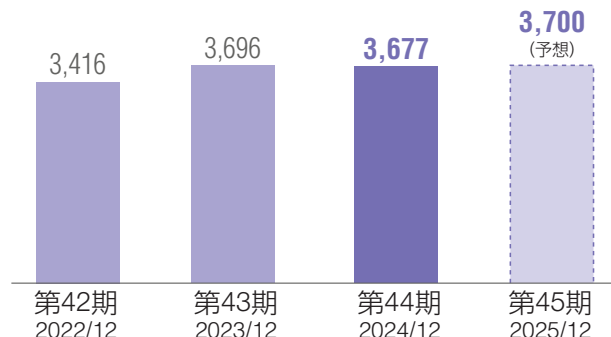
売上高 (百万円)



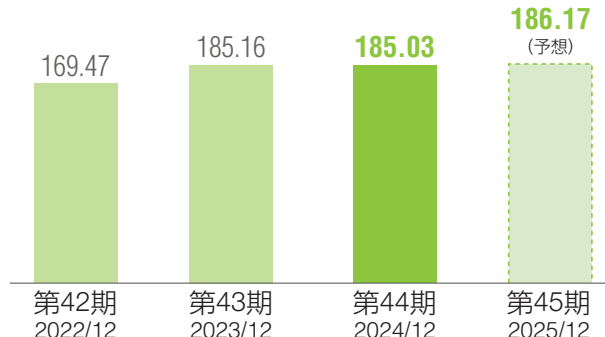
経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

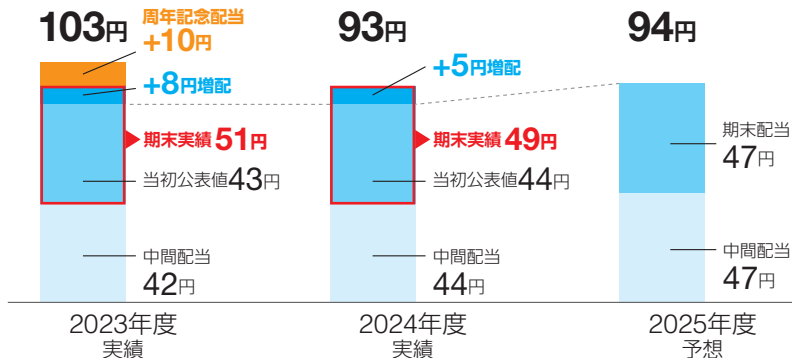


1株当たり当期純利益 (円)



配当に関する基本方針

- 連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- 中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- 業績にかかわらず年間配当10円を維持する(安定配当の見地)



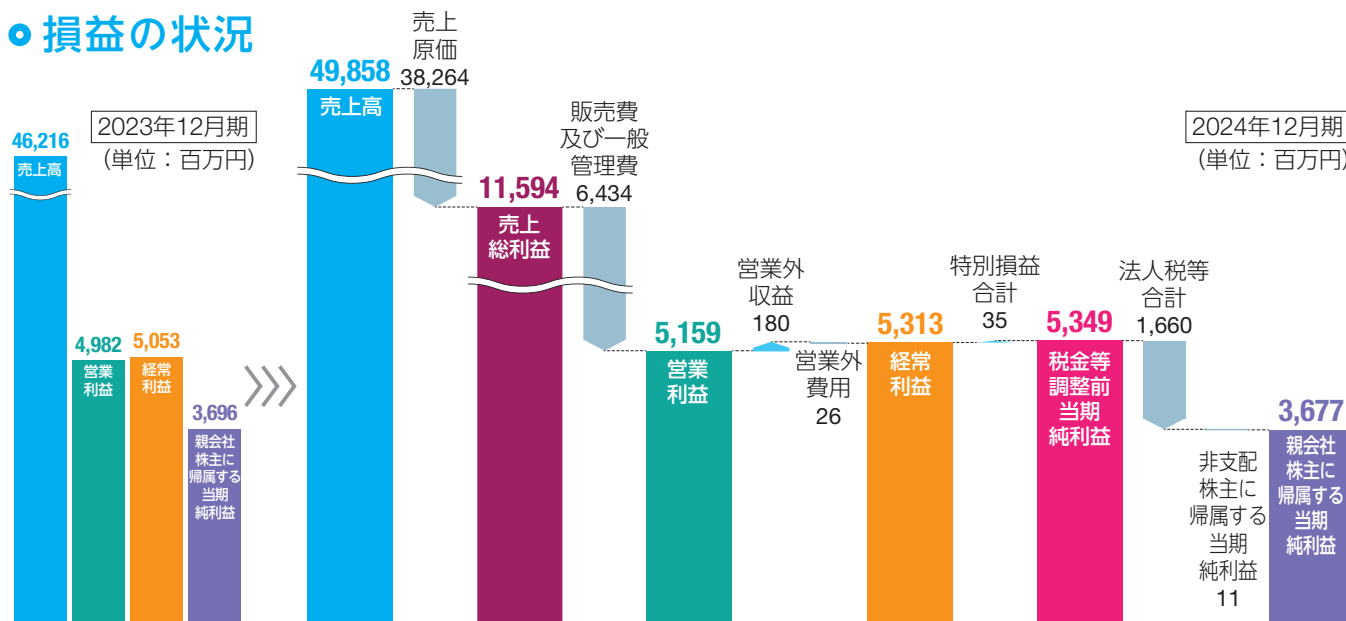
連結財務諸表

詳細はWEBサイトをご覧ください。

<https://www.alpsgiken.co.jp/ir/library/index.html>



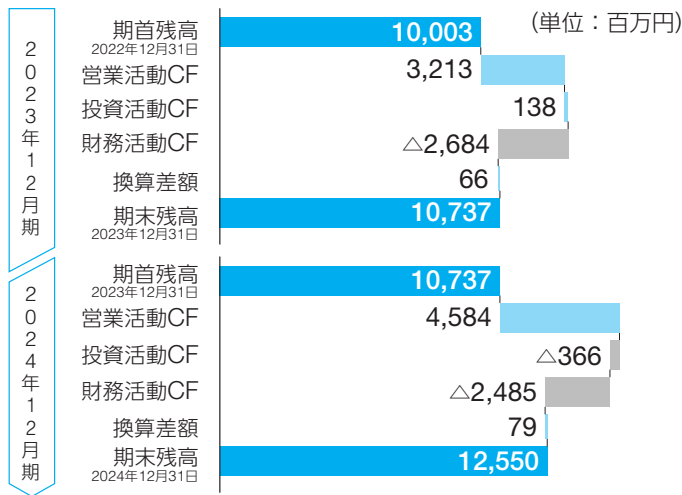
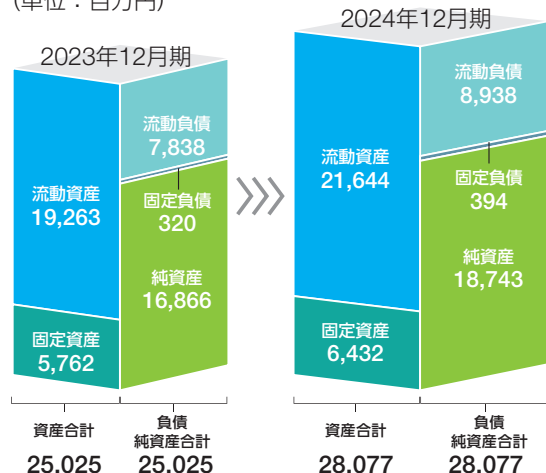
● 損益の状況



● 資産・負債・純資産の状況

● キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



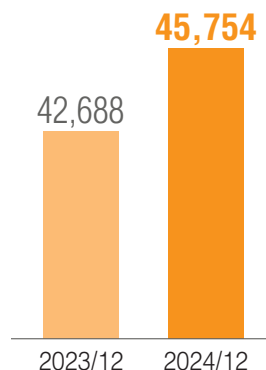
セグメント情報

アウトソーシングサービス事業

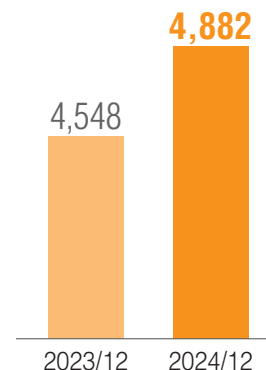
人材獲得競争が激化している中にもあっても優秀な人材を確保するため、リファラル採用等の施策に注力いたしました。また、先端技術分野や成長が期待できる環境分野の技術教育を強化し、チーム派遣等の営業施策と連動した取組みにより、引き続き稼働率は高水準を維持し契約単価も上昇いたしました。その結果、当連結会計年度における売上高は457億54百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は48億82百万円(同7.3%増)となりました。

2024年12月期
(単位：百万円)

売上高



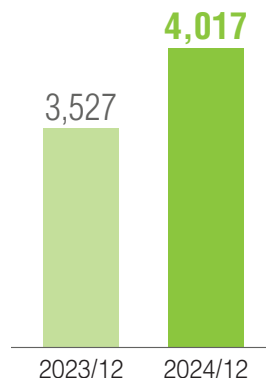
営業利益



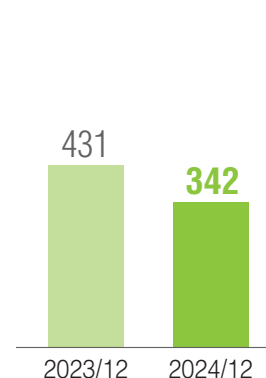
グローバル事業

当連結会計年度における売上高は40億17百万円(前年同期比13.9%増)、前々期から続いた高採算の大型案件が前期に完工した反動により営業利益は3億42百万円(同20.6%減)となりました。

売上高



営業利益



トピックス

シニア向け住宅30選 2025に「ふれあいの杜 さがみ湖」が選ばれました

文春ムック「しっかり学べる高齢者の住まい」に(株)アルプスケアハートが運営する未来型賃貸住宅「ふれあいの杜 さがみ湖」が選ばれました。文藝春秋が選ぶ、“穏やかで豊かな老後生活を過ごす、ご自身にあった住まいを見つけるために厳選した30の施設”として掲載されており、本年次報告書の裏表紙も併せてご覧ください。

掲載ページを
ご覧いただけます



南魚沼市市制施行20周年記念「特別功労者表彰」受賞

2024年9月29日に新潟県南魚沼市市制施行20周年記念式典にて、当社創業者最高顧問松井利夫が特別功労者表彰を受賞しました。次世代の起業家育成支援とリゾートオフィス・田園都市構想の推進に尽力し、産業経済の発展と地域の活性化に大きく寄与した功績が認められました。

左：新潟県南魚沼市 林市長
右：当社 松井創業者 最高顧問



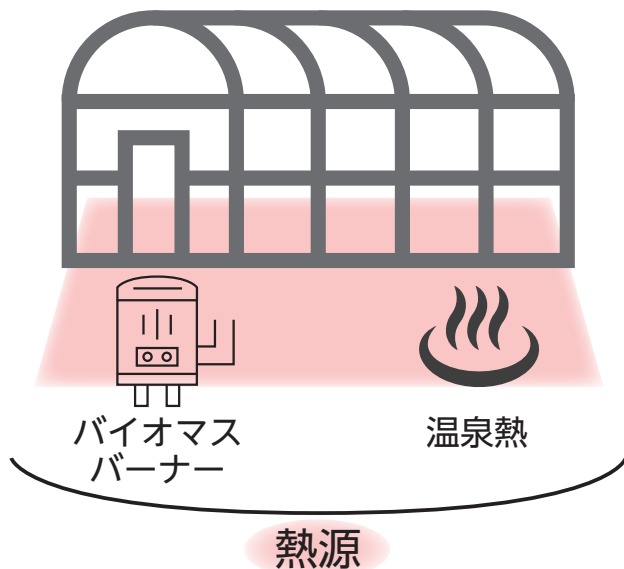
サステナビリティに関する当社の取組み

○気候変動に関する取組み

温泉熱で育ったミニトマト 『おんとま』を販売開始しました

十勝の冬でも化石燃料を使用せず
ミニトマトの栽培が可能

ビニールハウス



進捗状況

2024年11月

- 環境に配慮したハウス建設
- ミニトマト栽培を開始

2025年1月

- 十勝のスーパーで販売開始

今後の取組み

- 産地と消費者をつなぐサプライチェーンの創出
- 子会社(株)DONKEYが設計・開発した小型農業用ロボットを活用したスマート農業の実現



おんとま
(北海道のスーパーで販売中)



小型農業用ロボット
(CP200)

● 人的資本に関する取組み

環境づくりと社員への支援を通じて 会社の価値向上を図っております

環境づくり

- ライフワークバランス
- 女性活躍推進
- エンゲージメント向上

男性の育休取得率 **83.5%**

管理職に占める
女性の割合 **6.9%**

賃上げ **6.2%UP**

技術社員数
(2022年12月末比[※])

399人増加

社員への支援

- 個人のスキル向上
- モチベーション向上
- キャリア形成の支援

研修講座数 **1,093講座**

勉強会回数 **2,441回**

独自のESS (エンジニアサポートシステム)を活用

契約単価
(2022年12月末比[※])

284円増加

会社の
価値向上

※…第12次5ヵ年計画策定前の2022年12月末比較

会社概要 (2025年3月26日現在)

会社概要

商号 株式会社アルプス技研
英訳名 Altech Corporation
本社 〒220-6218
神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番5号
クイーンズタワーC 18階
TEL.045-640-3700 (代表)

アルプス技研第1ビル
〒252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本五丁目4番12号

アルプス技研第2ビル
〒252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番18号

創業 1968年7月
設立 1971年1月
資本金 23億4,716万円
拠点 国内30拠点
(営業所、ものづくりセンター室、分室)

創業者

創業者 最高顧問 松井 利夫

取締役・監査役及び業務執行役員

代表取締役会長	渡邊 信之	業務執行役員	石橋 武
代表取締役社長	須藤 泰志	業務執行役員	田代 和典
取締役	太田 秀幸	業務執行役員	渡邊 淳
取締役	松本 喜代一	業務執行役員	清水 立志
取締役相談役	今村 篤	業務執行役員	越森 一倫
取締役(社外)	野坂 英吾		
取締役(社外)	呉 雅俊		
取締役(社外)	四條 たか子	(注)1. 取締役のうち、野坂英吾氏、呉雅俊氏、四條たか子氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。	
常勤監査役	牧野 眞		
監査役(社外)	賀谷 浩志	2. 監査役のうち、賀谷浩志氏、加藤勝男氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。	
監査役(社外)	加藤 勝男		
補欠監査役	甘粕 潔		

事業所一覧/グループ会社

国内拠点 (30拠点)

●北日本事業部

札幌営業所 とかち分室 北上営業所 仙台営業所 郡山営業所

●北関東事業部

新潟営業所 宇都宮営業所 日立営業所 つくば営業所 高崎営業所 大宮営業所

●南関東事業部

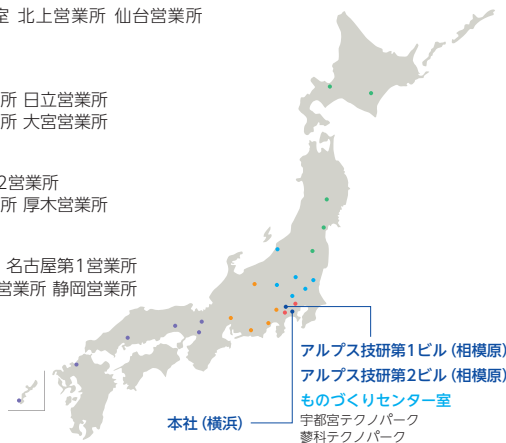
東京第1営業所 東京第2営業所 相模原営業所 横浜営業所 厚木営業所

●中日本事業部

松本営業所 甲府営業所 名古屋第1営業所 名古屋第2営業所 浜松営業所 静岡営業所

●西日本事業部

京都営業所 大阪営業所 姫路営業所 広島営業所 福岡営業所 沖縄分室



国内グループ会社 (5社)

(株) アルプスビジネスサービス

技術職・事務職の人材派遣事業、人材紹介事業、登録支援事業、人材教育事業

(株) アルプスアグリキャリア

農業分野へのアウトソーシング事業

(株) デジタル・スパイス

ソフトウェア開発、設計・製造事業、技術者派遣事業

(株) アルプスケアハート

訪問介護及びその他居宅介護サービス事業、サービス付き高齢者向け住宅の運営

(株) DONKEY

小型多機能型ロボットの研究開発～販売、データ活用サービスの提供

海外拠点



① ヤンゴン支店

- ミャンマー国内における人材育成事業
- エンジニアリングサービス事業 等

海外グループ会社 (3社)

② 臺灣阿爾卑斯技研股份有限公司 台湾アルプス技研

- プラント設備機器、工場設備機器の設計・製作・据付及びメンテナンス事業
- 総合人材サービス事業

③ 阿邇貝司機電技術(上海)有限公司 アルテック上海

- プラント設備機器、工場設備機器の設計・製作・据付及びメンテナンス事業
- 技術人材ソリューション事業

④ ALPSGIKEN MYANMAR CO., LTD. ミャンマーアルプス技研

- 人材育成事業、エンジニアリング事業

株式の状況

発行可能株式総数 42,900,000株
 発行済株式の総数 21,746,675株
 株主数 19,967名

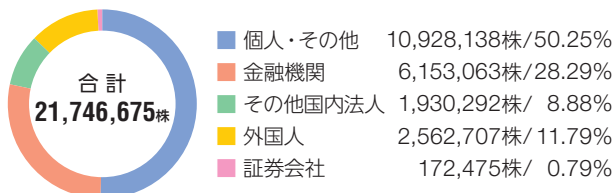
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	2,537,100	12.76
アルプス技研従業員持株会	2,021,031	10.16
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	791,800	3.98
公益財団法人とかち財団	748,000	3.76
株式会社東邦銀行	589,529	2.96
株式会社横浜銀行	580,707	2.92
野村信託銀行株式会社(投信口)	423,800	2.13
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	345,228	1.73
株式会社八十二銀行	305,910	1.53
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505044	302,900	1.52

(注)1. 当社は、自己株式を1,871,076株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。また、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



自然とのふれあいや人とのつながりを通じ、ゆったりと自分らしいシニア生活を愉しむ未来型賃貸住宅
「ふれあいの杜 さがみ湖」入居者募集中



屋上からの眺望



ご見学予約受付中



紹介動画は
こちら

お問合せ先 0120-197-433 (担当: 齊藤)
受付時間 年中無休 9:00~18:00
所在地 神奈川県相模原市緑区与瀬429-1
交通 JR中央本線相模湖駅より徒歩10分

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日 12月31日
中間配当金受領株主確定日 6月30日
定時株主総会 毎年3月
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL.0120-782-031 (通話料無料)
○インターネットによるダウンロード
<https://www.smbj.jp/personal/procedure/agency/>

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL.0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
1単元の株式数 100株
公告の方法 電子公告により行います。
<https://www.alpsgiken.co.jp/ir/index.shtml>
やむを得ない事由により、電子公告によることが
できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(株式に関するお手続き)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社アルプス技研

〒220-6218
神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番5号
クイーンズタワーC18階
TEL.045-640-3700 (代表)
<https://www.alpsgiken.co.jp/>
お問合せ先 経営企画部 経営企画・IR課
E-mail: ir-kouhou@alpsgiken.co.jp



当社公式キャラクター

「アルス」:
ラテン語で「技術・才能」

UD
FONT

この報告書は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用
して印刷しています。

